

# 事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
51211	(上水)施設更新・改良事業	公営企業局	経営管理課	シートA	2
51212	(工水)地図情報・図面管理等	公営企業局	経営管理課	シートA	3
53331	(上水)石手川ダム水源保全対策事業	公営企業局	経営管理課	シートA	4
62231	(上水)建設改良基金	公営企業局	経営管理課	シートA	5
62231	(工水)建設改良基金	公営企業局	経営管理課	シートA	6
69999	(上水)事務系・その他電算	公営企業局	経営管理課	シートA	7
69999	(簡水・中島)事務系・その他電算	公営企業局	経営管理課	シートA	8
69999	(工水)事務系・その他電算	公営企業局	経営管理課	シートA	9
69999	(上水)その他の支出(企業債の償還等)	公営企業局	経営管理課	シートA	10
69999	(簡水・中島)その他の支出(企業債の償還等)	公営企業局	経営管理課	シートA	11
69999	(簡水・北条)その他の支出(他会計借入金元金等)	公営企業局	経営管理課	シートA	12
69999	(工水)その他の支出(企業債の償還等)	公営企業局	経営管理課	シートA	13
59999	上野処理区汚水処理委託事業	公営企業局	経営管理課	シートA	14
69999	(上水)財産管理	公営企業局	経営管理課	シートA	15
69999	(簡水・中島)財産管理	公営企業局	経営管理課	シートA	16
69999	(簡水・北条)財産管理	公営企業局	経営管理課	シートA	17
69999	(工水)財産管理	公営企業局	経営管理課	シートA	18

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財産管理担当	連絡先	998-9823			
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	黒田 憲	リダー名	副主幹	担当者名	主任	金岡 大介	主任	林 泰男
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財産管理担当	連絡先	998-9823			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リダー名	副主幹	担当者名	主査	横本 哲也	主事	林 泰男

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名 (施策コード)	51211	(上水)施設更新・改良事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔 プログラム	個別プログラム	-			
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-			
施策	上水道等の整備					主な取り組み	-			
主な取り組み	上水道等の建設・維持				市長公約					
取り組みの柱	「アセットマネジメント」の実践や「経営戦略」の策定を行い、ライフサイクルコストを考慮した計画的な上水道施設の更新に取り組みます。									
総合戦略	基本目標	-				取組み	-			
	政策	-					-			
	施策	-					-			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等	水道ビジョンまつやま2009 水道ビジョンまつやま2019									
事業の目的 (どのような状態にするか)	老朽化した水道施設の再構築を検討し、適正な施設更新のための用地を確保することで、水道事業の健全な運営に寄与する。									
背景 (どのような経緯で開始したか)	水道施設の再構築に必要な用地が現有地では確保できないため、新たな用地の購入が必要となった。									
対象・事業内容 (誰に対して、何をやるのか)	上水道施設:水道施設の再構築を実施するうえで必要な水道施設の更新用地を確保する。									
受益者負担の状況	負担の有無	/			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	/				
始期・終期(年度)	平成	28	~	令和	10	終期の種別	1:事業の終了時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業会計	款	資本的支出		建設改良費	目	浄水施設費ほか	R3予算措置時期	当初
				R2年度	R3年度					
現計予算額(A)(単位:千円)						276,600		42,693		393,460
決算額(B)(単位:千円)						276,327		33,300		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金			0		0		0
			県支出金			0		0		0
			市債			0		0		0
			その他			0		0		0
			一般財源			276,327		33,300		393,460
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							取水堰の改良・更新に伴う用地買収 33,300千円		市之井手浄水場の更新に伴う用地買収 392,960千円 取水堰の改良・更新に伴う用地買収 500千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									予算額のうち,18,400千円は前年度繰越額	
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			273		9,393		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	水道施設の改良・更新に伴う用地買収									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	地権者との協議に時間を要したのもあったが、概ね予定通りでできた。						
施策への貢献度(目的達成度を含む)	4:どちらもない		左記の理由	貢献度を計れない。						
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない				
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			特になし			
R4年度の目標	施設更新に向け必要な更新用地を確保する			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			水道施設の更新に伴う用地買収			

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財産管理担当	連絡先	998-9823			
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	黒田 憲	リーダー名	副主幹	担当者名	主任	金岡 大介	主任	林 泰男
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財産管理担当	連絡先	998-9823			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	副主幹	担当者名	主査	横本 哲也	主事	林 泰男

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51212	(工水)地図情報・図面管理等				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-			
施策	上水道等の整備					主な取り組み	-			
主な取り組み	上水道等の建設・維持				市長公約					
取り組みの柱	民間事業者と協働して、効率的かつ適切な施設の維持管理を行います。									
総合戦略	基本目標	-			取組み	-				
	政策	-				-				
	施策	-				-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し						
根拠法令,条例,個別計画等										
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市公営企業局固定資産管理規程に基づき、公営企業局用地の登記関係の文書・図面・写真等の記録と管理を適正に行うことを目的としている。									
背景(どのような経緯で開始したか)	公営企業局が管理している水道施設や用地等は莫大な量であることから、運用方法、管理方法を明確にすることで公務の適正かつ円滑な執行を確保するため導入した。									
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	企業局が所有している工業用水道用地 土地管理台帳システムの保守委託 委託先:コンピューターシステム㈱									
受益者負担の状況	負担の有無			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由						
始期・終期(年度)	平成	22	～	令和	6	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	工業用水道事業	款	工業用水道事業費用		項	営業費用	目	総係費	R3予算措置時期	当初
				R2年度	R3年度						
現計予算額(A)(単位:千円)							20		18		18
決算額(B)(単位:千円)							18		17		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金				0		0		0
			県支出金				0		0		0
			市債				0		0		0
			その他				0		0		0
			一般財源				18		17		18
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算								水道施設台帳の整備・維持管理 17千円		水道施設台帳の整備・維持管理 18千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)				2		1		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	土地台帳システム保守委託										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		予定通り実施できたため					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	4:どちらもない		左記の理由		貢献度を計れない。						
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特になし				
R4年度の目標	引き続き適正な管理を行う。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		土地台帳システム保守委託				

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9846			
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	黒田 憲	リーダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	主事	佐伯 瞳	
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9846			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	主任	鶴原 勇気	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	53331	(上水)石手川ダム水源保全対策事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】					笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	豊かな自然と共生する						重点プロジェクト	-	
施策	節水型都市づくりの推進						主な取り組み	-	
主な取り組み	水資源の保全					市長公約			
取り組みの柱	石手川ダム水源地域における水源かん養林の整備や、重信川流域における地下水のかん養策を検討するなど、水源のかん養機能を高める取り組みを進めます。								
総合戦略	基本目標	-			取組み	-			
	政策	-				-			
	施策	-				-			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等	松山市水源の森基金条例、石手川ダム水質保全協議会規約								
事業の目的(どのような状態にするか)	水源林の取得及び整備を行い、水源かん養機能を高めるとともに、石手川ダム等の水道水源の保全及び水質の保全を図ることを目的とする。								
背景(どのような経緯で開始したか)	開発が予想される山林を先行して取得すれば開発を抑制することができること、また、森林整備をすることによって水源地域の環境を保護し、保水機能を高めることによって、質・量の両面から水源保全を図ることができると考え、この事業を開始した。								
対象・事業内容(誰に対して、何をするのか)	1. 松山市水源の森基金への負担金 ・水源かん養機能を高めるため水源林の取得及び整備事業を積極的に進めることを目的として設置された「松山市水源の森基金」への負担金。 2. 石手川ダム水質保全協議会 ・石手川ダムの水質保全を図るため、関係機関相互の連絡を密にし、水質汚濁防止対策等の推進を円滑にする。 3. その他の石手川ダム水源保全対策 ・石手川ダム等、水道水源の保全を目的として、石手川上流域の住民を対象に、し尿処理手数料補助などを行う。								
受益者負担の状況	負担の有無	/			「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	昭和 48	～	令和 5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業	款	水道事業費用	項	営業費用	目	総係費ほか	R3予算措置時期	当初
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				39,416		32,978		33,102		
決算額(B)(単位:千円)				30,687		22,030				
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金			0		0		0		
	県支出金			0		0		0		
	市債			0		0		0		
	その他			0		0		0		
			一般財源	30,687		22,030		33,102		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						松山市水源の森基金への負担金 16,416千円 その他の石手川ダム水源保全対策 3,650千円 石手川ダム水質保全協議会 1,964千円		松山市水源の森基金への負担金 25,900千円 その他の石手川ダム水源保全対策 4,112千円 石手川ダム水質保全協議会 3,090千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)	8,729		10,948				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	石手川ダム水質保全協議会総会開催、石手川河川清掃作業 水源地域の水質保全に関する活動、水源地域の河川美化の促進に関する活動 石手川ダム上流域の河川等清掃作業、水源水質保全推進員事業 ダム集水域のくみ取費助成事業				
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通り実施できたため。	
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		河川清掃や水質保全に係る活動により、水源を守ることができている。	
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2 1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組み改善策	特に無し	
R4年度の目標	引き続き当事業を実施し、水道水源の保全を図る。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	石手川ダム水質保全協議会総会開催、石手川河川清掃作業 水源地域の水質保全に関する活動、水源地域の河川美化の促進に関する活動 石手川ダム上流域の河川等清掃作業、水源水質保全推進員事業 ダム集水域のくみ取費助成事業	

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9836			
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	黒田 憲	リーダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	主査	呉石 美穂	
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9836			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	主査	渡部 祐平	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	62231	(上水)建設改良基金	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	7:その他
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地方分権社会を推進する			重点プロジェクト	-	
施策	効率的な行財政運営の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	健全な財政運営		市長公約			
取り組みの柱	中長期的な展望のもと、一般会計や特別会計、企業会計における持続可能な財政運営に努めます。					
総合戦略	基本目標	-	取組み	-		
	政策	-		-		
	施策	-		-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	松山市水道事業建設改良基金条例、水道ビジョンまつやま2019					
事業の目的(どのような状態にするか)	水道施設の更新に係る世代間の負担の公平を図ることを目的としている。					
背景(どのような経緯で開始したか)	水道施設の更新といった再投資は、新たな収益には繋がらないため、その財源についても将来世代に負担を先送りする企業債(借金)に依存するべきではない。 今の世代が享受している水道施設の機能を、次世代へ引き継ぐ義務があり、そのための資金を調達すべく基金を設置した。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	近い将来全面リニューアルの時期を迎える市之井手、竹原、垣生の3つの浄水場の再構築にかかる事業費の財源として、平成24年度からの20年間で、所要事業費の8割程度(約140億円)を基金へ積み立てる。 ・基金積立の原資等は、水道料金に繰り込んでいる資産維持費の一部。 ・毎年決算時に資産維持費の額及び基金への積立額を算定。 ・基金への積立額は決算の状況により変動する。 ・決算の認定と同時に剰余金処分(基金への積立等)の議決をとる。 議決後、基金への積立の処理を行う。					
受益者負担の状況	負担の有無	[有り]の場合,基準や金額等 [無し]の場合,その理由				
始期・終期(年度)	平成 24	~	令和 13	終期の種別	1:事業の終了時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業	款	資本的支出	項	基金造成費	目	基金造成費	R3予算措置時期	当初
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				614,480		554,150		597,230		
決算額(B)(単位:千円)				614,480		554,150		0		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金		0		0		0			
	県支出金		0		0		0			
	市債		0		0		0			
	その他		0		0		0			
	一般財源		614,480		554,150		597,230			
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						建設改良基金の積立 554,150千円		建設改良基金の積立 597,230千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		0		0		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	経費削減など経営努力の結果、利益を確保することができたため、決算確定後、基金への積立を行う。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	基金積立の当初目標額が達成できたため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	予定どおり基金を積み立てることにより、水道施設の更新財源の一部を確保することができた。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組み改善策		特に無し	
R4年度の目標	予算計上した基金への積立予定額が達成できるよう経営努力を行う。			引き続き経費削減などの経営努力を行う。		

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9836			
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	黒田 憲	リダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	主査	呉石 美徳	
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9836			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	主査	渡部 祐平	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	62231	(工水)建設改良基金					事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	7:その他
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】					笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	地方分権社会を推進する						重点プロジェクト	-		
施策	効率的な行財政運営の推進						主な取り組み	-		
主な取り組み	健全な財政運営					市長公約				
取り組みの柱	中長期的な展望のもと、一般会計や特別会計、企業会計における持続可能な財政運営に努めます。									
総合戦略	基本目標	-				取組み				
	政策	-								
	施策	-								
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等	松山市工業用水道事業建設改良基金条例									
事業の目的(どのような状態にするか)	水道施設の更新といった再投資は、膨大な事業費が必要となることから、基金を設置し、所要資金を積み立てていくことを目的としている。									
背景(どのような経緯で開始したか)	本市の基幹浄水場である垣生浄水場には、昭和30年代に建設された工業用水道施設が併設されており、近い将来全面的なリニューアルの時期を迎え、膨大な事業費が必要となるため。									
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	垣生浄水場工業用水道施設(着水井、ポンプ室、管理棟の築造、場内配管、送水ポンプ、機械設備)の更新のため、平成24年度からの15年間で、所要事業費の8割程度(約10億円)を基金へ積み立てる。 ・基金積立の原資等は、工業用水道料金に織り込んでいる資産維持費の一部。 ・毎年決算時に資産維持費の額及び基金への積立額を算定。 ・基金への積立額は決算の状況により変動する。 ・決算の認定と同時に剰余金処分(基金への積立等)の議決をとる。 議決後、基金への積立の処理を行う。									
受益者負担の状況	負担の有無			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由						
始期・終期(年度)	平成	24	~	令和	8	終期の種別	1:事業の終了時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	工業用水道事業	款	資本的支出	項	基金造成費	目	基金造成費	R3予算措置時期	当初
				R2年度			R3年度			R4年度
現計予算額(A)(単位:千円)				42,040			45,830			38,590
決算額(B)(単位:千円)				42,040			45,830			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金				0			0		
	県支出金				0			0		
	市債				0			0		
	その他				0			0		
	一般財源				42,040			45,830		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							建設改良基金の積立 45,830千円			建設改良基金の積立 38,590千円
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)	(A)-(B)			0			0			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	経費削減など経営努力の結果、利益を確保することができたため、決算確定後、基金への積立を行う。									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			基金積立の当初目標額が達成できたため。			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		予定どおり基金を積み立てることにより、工業用水道施設の更新財源の一部を確保することができた。					
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策				
R4年度の目標	予算計上した基金への積立予定額が達成できるよう経営努力を行う。					引き続き経費削減などの経営努力を行う。  R4年度の主な取り組み内容(予定含む)				

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9846				
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	黒田 憲	リダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	副主幹	高橋 誠也	主査	渡部 祐平
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9836				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	主査	渡部 祐平	主査	呉石 美穂

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	69999	(上水)事務系・その他電算				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】					笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	その他						重点プロジェクト	-	
施策	その他						主な取り組み	-	
主な取り組み	その他					市長公約	-		
取り組みの柱	その他						-		
総合戦略	基本目標	-				取組み	-		
	政策	-					-		
	施策	-					-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等									
事業の目的(どのような状態にするか)	財務会計システム等を活用する事で、適正な予算の執行事務や、行政事務を迅速かつ効率的に行う。								
背景(どのような経緯で開始したか)	公営企業局では、事務の改善、利便性の向上、行政事務の更なる効率化・迅速化を目的とし、財務会計システム等を導入しているが、システムの保守及びシステム運用に関する業務については、専門知識が必要であることから業務委託している。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	財務会計システム、公共事業積算システム、松山市例規集データベースシステム、庁内LAN機器等についての ・システムの維持管理 ・関連備用品の購入・修繕等								
受益者負担の状況	負担の有無	-			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	-			
始期・終期(年度)	平成	18	～	令和	5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業	款	水道事業費用		項	営業費用		目	総係費	R3予算措置時期		当初
				R2年度	R3年度		R3年度	R4年度					
現計予算額(A)(単位:千円)							25,349			19,459			25,503
決算額(B)(単位:千円)							22,719			18,889			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金				0			0			0
			県支出金				0			0			0
			市債				0			0			0
			その他				0			0			0
			一般財源				22,719			18,889			25,503
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算									電算システムの維持管理 13,998千円 電算関連備用品の購入・修繕等の経費 3,780千円 電算システムの開発 1,111千円			電算システムの維持管理 14,200千円 電算関連備用品の購入・修繕等の経費 5,218千円 電算システムの開発 6,085千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等													
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)				2,630			570			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組内容	財務会計システム、公共事業積算システム、松山市例規集データベースシステム、庁内LAN機器等についての ・システムの維持管理 ・関連備用品の購入・修繕等											
主な取組内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など			予定通り適正に運用できたため。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		システムの円滑な運用により水道事業の適正な運営に寄与しているため。							
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない				公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	令和3年4月1日付で上下水道部門の組織統合を行った。					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			財務会計システム機器の更新に伴い、同システムのソフトウェアバージョンアップを行う。			
R4年度の目標	正常な運営維持を行い、引き続き「経費の削減、事務の改善、利便性の向上、行政事務の更なる効率化・迅速化を図る。					R4年度の主な取組内容(予定含む)			財務会計システム、公共事業積算システム、松山市例規集データベースシステム、庁内LAN機器等についての ・システムの維持管理 ・システムの開発(改造・再構築等を含む一時経費) ・関連備用品の購入・修繕等			

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9846				
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	黒田 憲	リーダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	副主幹	高橋 誠也	主査	渡部 祐平
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9836				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	主査	渡部 祐平	主査	呉石 美穂

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	69999	(簡水・中島)事務系・その他電算				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託		
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】				笑顔プログラム	個別プログラム	-				
政策	その他					重点プロジェクト	-				
施策	その他					主な取り組み	-				
主な取り組み	その他				市長公約						
取り組みの柱	その他										
総合戦略	基本目標	-				取組み					
	政策	-									
	施策	-									
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し						
根拠法令,条例,個別計画等											
事業の目的(どのような状態にするか)	財務会計システム等を活用する事で、適正な予算の執行事務や、行政事務を迅速かつ効率的に行う。										
背景(どのような経緯で開始したか)	公営企業局では、事務の改善、利便性の向上、行政事務の更なる効率化・迅速化を目的とし、財務会計システム等を導入しているが、システムの保守及びシステム運用に関する業務については、専門知識が必要であることから業務委託している。										
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	財務会計システム、公共事業積算システム、松山市例規集データベースシステム、庁内LAN機器等についての ・システムの維持管理 ・関連備用品の購入・修繕等										
受益者負担の状況	負担の有無	[有り]の場合,基準や金額等 [無し]の場合,その理由									
始期・終期(年度)	平成	18	~	令和	5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	簡易水道事業	中島地区簡易水道事業費用	款	項	営業費用	目	総係費	R3予算措置時期	当初
		R2年度			R3年度			R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)						394		599		878
決算額(B)(単位:千円)						319		565		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳		国支出金				0		0		0
		県支出金				0		0		0
		市債				0		0		0
		その他				0		0		0
		一般財源				319		565		878
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							電算システムの維持管理 466千円 電算関連備用品の購入・修繕等の経費 99千円		電算システムの維持管理 522千円 電算関連備用品の購入・修繕等の経費 137千円 電算システムの開発 219千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)				75		34		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組み内容	財務会計システム、公共事業積算システム、松山市例規集データベースシステム、庁内LAN機器等についての ・システムの維持管理 ・関連備用品の購入・修繕等								
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など			予定通り適正に運用できたため。			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		システムの円滑な運用により簡易水道事業の適正な運営に寄与しているため。					
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	令和3年4月1日付で上下水道部門の組織統合を行った。				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		財務会計システム機器の更新に伴い、同システムのソフトウェアバージョンアップを行う。		
R4年度の目標	正常な運営維持を行い、引き続きIT経費の削減、事務の改善、利便性の向上、行政事務の更なる効率化・迅速化を図る。				R4年度の主な取組み内容(予定含む)		財務会計システム、公共事業積算システム、松山市例規集データベースシステム、庁内LAN機器等についての ・システムの維持管理 ・システムの開発(改造・再構築等を含む一時経費) ・関連備用品の購入・修繕等		



令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9846				
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	黒田 憲	リーダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	副主幹	高橋 誠也	主査	渡部 祐平
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9836				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	主査	渡部 祐平	主査	呉石 美穂

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	69999	(工水)事務系・その他電算					事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託		
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】					笑顔プログラム	個別プログラム	-				
政策	その他						重点プロジェクト	-				
施策	その他						主な取り組み	-				
主な取り組み	その他					市長公約						
取り組みの柱	その他											
総合戦略	基本目標	-					取組み	-				
	政策	-						-				
	施策	-						-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し		重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し							
根拠法令,条例,個別計画等												
事業の目的(どのような状態にするか)	財務会計システム等を活用する事で、適正な予算の執行事務や、行政事務を迅速かつ効率的に行う。											
背景(どのような経緯で開始したか)	公営企業局では、事務の改善、利便性の向上、行政事務の更なる効率化・迅速化を目的とし、財務会計システム等を導入しているが、システムの保守及びシステム運用に関する業務については、専門知識が必要であることから業務委託している。											
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	財務会計システム、公共事業積算システム、松山市例規集データベースシステム、庁内LAN機器等についての ・システムの維持管理 ・関連備用品の購入・修繕等											
受益者負担の状況	負担の有無			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由								
始期・終期(年度)	平成	18	～	令和	5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期					

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	工業用水道事業	款	工業用水道事業費用	項	営業費用	目	総係費	R3予算措置時期	当初
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				1,841		1,246		1,651		
決算額(B)(単位:千円)				1,524		1,041				
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0		
	県支出金			0		0		0		
	市債			0		0		0		
	その他			0		0		0		
				1,524		1,041		1,651		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						電算システムの維持管理 778千円 電算関連備用品の購入・修繕等の経費 263千円		電算システムの維持管理 879千円 電算関連備用品の購入・修繕等の経費 334千円 電算システムの開発 438千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		317		205				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	財務会計システム、公共事業積算システム、松山市例規集データベースシステム、庁内LAN機器等についての ・システムの維持管理 ・関連備用品の購入・修繕等										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		予定通り適正に運用できたため。					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		システムの円滑な運用により工業用水道事業の適正な運営に寄与しているため。							
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない				
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	令和3年4月1日付で上下水道部門の組織統合を行った。					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		財務会計システム機器の更新に伴い、同システムのソフトウェアバージョンアップを行う。			
R4年度の目標	正常な運営維持を行い、引き続きIT経費の削減、事務の改善、利便性の向上、行政事務の更なる効率化・迅速化を図る。					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		財務会計システム、公共事業積算システム、松山市例規集データベースシステム、庁内LAN機器等についての ・システムの維持管理 ・システムの開発(改造・再構築等を含む一時経費) ・関連備用品の購入・修繕等			

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9846			
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	黒田 憲	リダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	副主幹	高橋 誠也	
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9836			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	主査	渡部 祐平	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名 (施策コード)	69999	(上水)その他の支出(企業債の償還等)				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】				笑顔 プログラム	個別プログラム	-		
政策	その他					重点プロジェクト	-		
施策	その他					主な取り組み	-		
主な取り組み	その他				市長公約	-			
取り組みの柱	その他					-			
総合戦略	基本目標	-			取組み	-			
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等	地方財政法第5条								
事業の目的 (どのような状態にするか)	主に水道管路や施設の建設・改良事業などの資金として活用している企業債の定期償還事務を行うこと。								
背景 (どのような経緯で開始したか)	地方財政法第5条に基づいて水道事業債の借入を行ったことにより実施。								
対象・事業内容 (誰に対して,何をやるのか)	財務省や地方公共団体金融機構等から借り入れをした企業債について、9月と3月に定期償還を行っている。 企業債元金の償還 企業債利息の支払 その他の支出								
受益者負担の状況	負担の有無	/			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	/			
始期・終期(年度)	昭和	27	～	令和	33	終期の種別	1:事業の終了時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業	款	資本的支出ほか		企業債償還金ほか		R3予算措置時期	当初
				項	目	目	目		
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				1,456,242		1,506,354		1,484,258	
決算額(B)(単位:千円)				1,278,772		1,400,397			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0	
	県支出金			0		0		0	
	市債			0		0		0	
	その他			0		0		0	
	一般財源			1,278,772		1,400,397		1,484,258	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				/		企業債元金 990,040千円 企業債利息 163,963千円 固定資産除却費外 246,394千円		企業債元金 1,108,600千円 企業債利息 187,830千円 固定資産除却費外 187,828千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				/		/		/	
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		177,470		105,957	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	企業債元金の償還 企業債利息の支払 その他の支出								
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など		予定通り実施できたため。		
施策への貢献度 (目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		水道事業の円滑な運営に寄与しているため。				
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特に無し		
R4年度の目標	引き続き,水道事業の円滑な運営に努める。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		企業債元金の償還 企業債利息の支払 その他の支出		

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9846			
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	黒田 憲	リダ-名	主幹	井手本 公治	担当者名	副主幹	高橋 誠也	
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9836			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リダ-名	主幹	井手本 公治	担当者名	主査	渡部 祐平	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	69999	(簡水・中島)その他の支出(企業債の償還等)				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	その他					重点プロジェクト	-		
施策	その他					主な取り組み	-		
主な取り組み	その他				市長公約				
取り組みの柱	その他								
総合戦略	基本目標	-			取組み	-			
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等	地方財政法第5条								
事業の目的(どのような状態にするか)	主に水道管路や施設の建設・改良事業などの資金として活用している企業債の定期償還事務を行うこと。								
背景(どのような経緯で開始したか)	地方財政法第5条に基づいて水道事業債の借入を行ったことにより実施。								
対象・事業内容(誰に対して,何をするのか)	財務省や地方公共団体金融機構等から借り入れをした企業債について、9月と3月に定期償還を行っている。 企業債元金の償還 企業債利息の支払 その他の支出								
受益者負担の状況	負担の有無	/			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由		/		
始期・終期(年度)	平成	16	～	令和	33	終期の種別	1:事業の終了時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	簡易水道事業	款	中島地区 簡易水道資本的支出ほか	項	企業債償還金ほか	目	企業債償還金ほか	R3予算措置時期	当初
					R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)					63,980		66,689		66,806	
決算額(B)(単位:千円)					48,983		48,970		-	
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金				0		0		0	
	県支出金				0		0		0	
	市債				0		0		0	
	その他				0		0		0	
					48,983		48,970		66,806	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算					企業債元金 40,275千円 企業債利息 7,538千円 固定資産除却費外 1,157千円		企業債元金 41,890千円 企業債利息 7,300千円 固定資産除却費外 17,616千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)			14,997		17,719		-	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	企業債元金の償還 企業債利息の支払 その他の支出									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など		予定通り実施できたため。			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		簡易水道事業の適正な運営に寄与しているため。					
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害課題となっている事項	特に無し				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特に無し			
R4年度の目標	引き続き,簡易水道事業の円滑な運営に努める。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		企業債元金の償還 企業債利息の支払 その他の支出			

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9846			
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	黒田 憲	リダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	副主幹	高橋 誠也	
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9836			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	主査	渡部 祐平	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	69999	(簡水・北条)その他の支出(他会計借入金元金等)				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	その他					重点プロジェクト	-		
施策	その他					主な取り組み	-		
主な取り組み	その他				市長公約	-			
取り組みの柱	その他					-			
総合戦略	基本目標	-			取組み	-			
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し						
根拠法令,条例,個別計画等									
事業の目的(どのような状態にするか)	北条簡水の施設更新・改良事業で活用した他会計長期借入金の定期償還事務を行うこと。								
背景(どのような経緯で開始したか)	北条簡水の施設更新・改良事業の財源として他会計(水道事業会計)から長期借入を行ったことにより実施。								
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	他会計(水道事業会計)から借り入れをした他会計長期借入金について、9月と3月に定期償還を行っている。 他会計長期借入金元金の償還 他会計長期借入金利息の支払								
受益者負担の状況	負担の有無	-			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	-			
始期・終期(年度)	平成	30	～	令和	30	終期の種別	1:事業の終了時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	簡易水道事業	款	北条地区		長期借入金償還金ほか	目	他会計 長期借入金償還金ほか	R3予算措置時期	当初	
				簡易水道資本的支出ほか	項						
				R2年度		R3年度		R4年度			
現計予算額(A)(単位:千円)						4,541		4,450	3,499		
決算額(B)(単位:千円)						1,498		1,466	-		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金				0		0	0			
	県支出金				0		0	0			
	市債				0		0	0			
	その他				0		0	0			
	一般財源				1,498		1,466	3,499			
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							他会計借入金元金 1,367千円 他会計借入金利息 89千円 固定資産除却費 10千円	他会計借入金元金 1,370千円 他会計借入金利息 90千円 固定資産除却費 2,039千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		3,043		2,984	-		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	他会計長期借入金元金の償還 他会計長期借入金利息の支払									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		予定通り実施できたため。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		簡易水道事業の適正な運営に寄与しているため。					
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特に無し			
R4年度の目標	引き続き,簡易水道事業の円滑な運営に努める。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		他会計長期借入金元金の償還 他会計長期借入金利息の支払			

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9846			
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	黒田 憲	リダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	副主幹	高橋 誠也	
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9836			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	主査	渡部 祐平	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	69999	(工水)その他の支出(企業債の償還等)				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	その他					重点プロジェクト	-		
施策	その他					主な取り組み	-		
主な取り組み	その他				市長公約				
取り組みの柱	その他								
総合戦略	基本目標	-			取組み	-			
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等	地方財政法第5条								
事業の目的(どのような状態にするか)	主に水道管路や施設の建設・改良事業などの資金として活用している企業債の定期償還事務を行うこと。								
背景(どのような経緯で開始したか)	地方財政法第5条に基づいて工業用水道事業債の借入を行ったことにより実施。								
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	地方公共団体金融機構から借入れをした企業債について,9月と3月に定期償還を行っている。 企業債元金の償還 企業債利息の支払 その他の支出								
受益者負担の状況	負担の有無	/			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	/			
始期・終期(年度)	昭和	27	～	令和	33	終期の種別	1:事業の終了時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	工業用水道事業	款	資本的支出ほか		企業債償還金ほか		R3予算措置時期	当初
				項	目	目	目		
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				99,184		125,324		87,192	
決算額(B)(単位:千円)				30,162		41,275			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0	
	県支出金			0		0		0	
	市債			0		0		0	
	その他			0		0		0	
	一般財源			30,162		41,275		87,192	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				/		企業債元金 33,901千円 企業債利息 3,716千円 固定資産除却費外 3,658千円		企業債元金 37,310千円 企業債利息 5,310千円 固定資産除却費外 44,572千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				/		/		/	
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		69,022		84,049	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため,実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	企業債元金の償還 企業債利息の支払 その他の支出									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など		予定通り実施できたため。			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		工業用水道事業の円滑な運営に寄与しているため。					
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特に無し			
R4年度の目標	引き続き,工業用水道事業の円滑な運営に努める。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		企業債元金の償還 企業債利息の支払 その他の支出			

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9828			
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	黒田 憲	リーダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	副主幹	荻山 慶志	
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9836			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	主任	鶴原 勇気	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	59999	上野処理区汚水処理委託事業				事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)	事業区分	1:直営	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	その他					重点プロジェクト	-			
施策	その他					主な取り組み	-			
主な取り組み	その他				市長公約	-				
取り組みの柱	0					-				
総合戦略	基本目標	-				取組み	-			
	政策	-					-			
	施策	-					-			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し						
根拠法令,条例,個別計画等	地方自治法第244条3、第252条の14									
事業の目的(どのような状態にするか)	都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の保全に資することを目的とする。									
背景(どのような経緯で開始したか)	松山市と砥部町の行政区域にまたがって建設された上野団地は、砥部町側は砥部町公共下水道に接続されていたものの、松山市側は集中浄化槽での汚水処理を行っており、地元住民から砥部町公共下水道への接続要望があった。そこで、関係機関との協議・検討を進め、平成30年度から新たに松山公共下水道として位置付け、松山市側についても砥部町公共下水道に接続することとし、汚水処理を砥部町に委託する「事務の委託」により、行政区域を越えて汚水処理を行うこととなった。									
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	「砥部町と松山市との汚水処理に係る事務の委託に関する協定書」に基づき、松山市で収入した上野処理区の下水道使用料を、当該地区の汚水処理に係る費用(維持管理・資本費)で按分し、砥部町に支払うものである。									
受益者負担の状況	負担の有無	/			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	/				
始期・終期(年度)	令和	1	~	令和	5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	下水道事業会計	款	公共下水道事業費用 公共下水道資本的支出	項	営業費用 下水道建設改良費	目	総経費 管渠建設費	R3予算措置時期	当初
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)						4,315		4,152		3,801
決算額(B)(単位:千円)						4,308		4,013		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金					0		0		0
	県支出金					0		0		0
	市債					0		0		0
	その他					0		0		0
	一般財源					4,308		4,013		3,801
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						委託料 3,966千円 負担金 47千円				委託料 3,801千円
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		7		139		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	砥部町への委託料の支払い。									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		予定通り実施できたため。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		公共下水道事業の円滑な運営に寄与したため。					
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害課題となっている事項	特に無し				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組み改善策		特に無し			
R4年度の目標	都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の保全を図る。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		砥部町への委託料の支払い。			

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財産管理担当	連絡先	998-9823				
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	黒田 憲	リーダー名	副主幹	松本 和彦	担当者名	主任	金岡 大介	主任	林 泰男
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財産管理担当	連絡先	998-9823				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	副主幹	松本 和彦	担当者名	主査	横本 哲也	主事	林 泰男

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	69999	(上水)財産管理	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	その他			重点プロジェクト	-	
施策	その他			主な取り組み	-	
主な取り組み	その他		市長公約	-		
取り組みの柱	その他			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	松山市公営企業局固定資産管理規程、松山市公営企業局庁舎管理規程					
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市公営企業局固定資産管理規程に基づき、固定資産の効果的な運用を図るため、その取得、管理及び処分を行うことを目的とする。また、松山市公営企業局庁舎管理規程に基づき、公務の円滑な執行を確保するため、庁舎の秩序の維持、災害の防止、美観の保持、その他庁舎管理を行うことを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	公営企業局が管理している水道施設や用地等は莫大な量であることから、運用方法、管理方法を明確にすることで公務の適正かつ円滑な執行を確保するため導入した。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	固定資産として管理している水道施設や用地等 公営企業法施行規則に沿って、主に有形固定資産や無形固定資産について毎事業年度減価償却を行う。 1.有形固定資産の減価償却 2.無形固定資産の減価償却 3.その他財産管理					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	昭和 54	～	令和 5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業	款	水道事業費用		項	営業費用	目	減価償却費ほか	R3予算措置時期	当初
				R2年度	R3年度					R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)											3,829,953
決算額(B)(単位:千円)											
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金						0		0
			県支出金						0		0
			市債						0		0
			その他						0		0
			一般財源		3,531,166				3,576,987		3,829,953
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							有形固定資産減価償却費 3,526,342千円 無形固定資産減価償却費 33,022千円 車両の購入・維持管理 5,984千円		有形固定資産減価償却費 3,780,082千円 無形固定資産減価償却費 27,990千円 車両の購入・維持管理 4,200千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)		143,280			89,633			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	有形固定資産減価償却 無形固定資産減価償却 その他財産管理					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通り実施できたため		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	水道事業の円滑な運営に寄与しているため。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		
R4年度の目標	引き続き効率的な財産管理を行う。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む) 有形固定資産減価償却 無形固定資産減価償却 その他財産管理		

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財産管理担当	連絡先	998-9823				
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	黒田 憲	リダー名	副主幹	松本 和彦	担当者名	主任	金岡 大介	主任	林 泰男
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財産管理担当	連絡先	998-9823				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リダー名	副主幹	松本 和彦	担当者名	主査	横本 哲也	主事	林 泰男

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	69999	(簡水・中島)財産管理	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	その他			重点プロジェクト	-	
施策	その他			主な取り組み	-	
主な取り組み	その他		市長公約	-		
取り組みの柱	その他			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し		
根拠法令,条例,個別計画等		松山市公営企業局固定資産管理規程				
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市公営企業局固定資産管理規程に基づき、固定資産の効果的な運用を図るため、その取得、管理及び処分を行うことを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	公営企業局が管理している水道施設や用地等は膨大な量であることから、運用方法、管理方法を明確にすることで公務の適正かつ円滑な執行を確保するため。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	固定資産として管理している中島地区簡易水道施設や用地等 公営企業法施行規則に沿って、主に有形固定資産や無形固定資産について毎事業年度減価償却を行う。 1. 有形固定資産の減価償却 2. 無形固定資産の減価償却 3. その他財産管理					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由		-		
始期・終期(年度)	昭和 54	～	令和 5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	簡易水道事業	款	中島地区簡易水道事業		項	営業費用	目	減価償却費ほか	R3予算措置時期	当初
				R2年度	R3年度					R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)							115,254		117,784		112,962
決算額(B)(単位:千円)							115,009		114,242		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳		国支出金					0		0		0
		県支出金					0		0		0
		市債					0		0		0
		その他					0		0		0
		一般財源					115,009		114,242		112,962
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							有形固定資産減価償却費 112,168千円 無形固定資産減価償却費 200千円 車両の購入・維持管理 1,523千円		有形固定資産減価償却費 112,285千円 無形固定資産減価償却費 200千円 車両の購入・維持管理 352千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)				245		3,542		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	有形固定資産減価償却 無形固定資産減価償却 その他財産管理					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通り実施できたため		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	中島地区簡易水道事業の円滑な運営に寄与しているため。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特になし	
R4年度の目標	引き続き効率的な財産管理を行う。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		有形固定資産減価償却 無形固定資産減価償却 その他財産管理	



令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財産管理担当	連絡先	998-9823				
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	黒田 憲	リダー名	副主幹	松本 和彦	担当者名	主任	金岡 大介	主任	林 泰男
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財産管理担当	連絡先	998-9823				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リダー名	副主幹	松本 和彦	担当者名	主査	横本 哲也	主事	林 泰男

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	69999	(簡水・北条)財産管理					事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営		
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】					笑顔プログラム	個別プログラム	-				
政策	その他						重点プロジェクト	-				
施策	その他						主な取り組み	-				
主な取り組み	その他					市長公約						
取り組みの柱	その他											
総合戦略	基本目標	-					取組み	-				
	政策	-						-				
	施策	-						-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し							
根拠法令,条例,個別計画等		松山市公営企業局固定資産管理規程										
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市公営企業局固定資産管理規程に基づき、固定資産の効果的な運用を図るため、その取得、管理及び処分を行うことを目的とする。											
背景(どのような経緯で開始したか)	公営企業局が管理している水道施設や用地等は膨大な量であることから、運用方法、管理方法を明確にすることで公務の適正かつ円滑な執行を確保するため。											
対象・事業内容(誰に対して、何をするのか)	固定資産として管理している北条地区簡易水道施設や用地等 公営企業法施行規則に沿って、主に有形固定資産や無形固定資産について毎事業年度減価償却を行う。 1.有形固定資産の減価償却 2.無形固定資産の減価償却 3.その他財産管理											
受益者負担の状況	負担の有無			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由								
始期・終期(年度)	昭和	54	～	令和	5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期					

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	簡易水道事業	款	北条地区簡易水道事業		項	営業費用	目	減価償却費ほか	R3予算措置時期	当初
				R2年度	R3年度						
現計予算額(A)(単位:千円)				4,466	2,750	2,828					
決算額(B)(単位:千円)				3,892	2,846						
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0	0	0					
	県支出金			0	0	0					
	市債			0	0	0					
	その他			0	0	0					
	一般財源			3,892	2,846	2,828					
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				有形固定資産減価償却費 2,627千円 車両の購入・維持管理 213千円		有形固定資産減価償却費 2,630千円 車両の購入・維持管理 189千円					
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				流用増あり							
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		574	-96						

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	有形固定資産減価償却 無形固定資産減価償却 その他財産管理										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など			予定通り実施できたため					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		北条地区簡易水道事業の円滑な運営に寄与しているため。							
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			特になし		
R4年度の目標	引き続き効率的な財産管理を行う。					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			有形固定資産減価償却 無形固定資産減価償却 その他財産管理		

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財産管理担当	連絡先	998-9823				
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	黒田 憲	リダー名	副主幹	松本 和彦	担当者名	主任	金岡 大介	主任	林 泰男
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財産管理担当	連絡先	998-9823				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リダー名	副主幹	松本 和彦	担当者名	主査	横本 哲也	主事	林 泰男

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	69999	(工水)財産管理					事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】					笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	その他						重点プロジェクト	-		
施策	その他						主な取り組み	-		
主な取り組み	その他					市長公約	-			
取り組みの柱	その他						-			
総合戦略	基本目標	-				取組み	-			
	政策	-					-			
	施策	-					-			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等		松山市公営企業局固定資産管理規程								
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市公営企業局固定資産管理規程に基づき、固定資産の効果的な運用を図るため、その取得、管理及び処分を行うことを目的とする。									
背景(どのような経緯で開始したか)	公営企業局が管理している水道施設や用地等は膨大な量であることから、運用方法、管理方法を明確にすることで公務の適正かつ円滑な執行を確保するため。									
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	固定資産として管理している工業用水道施設や用地等 公営企業法施行規則に沿って、主に有形固定資産や無形固定資産について毎事業年度減価償却を行う。 1.有形固定資産の減価償却 2.無形固定資産の減価償却 3.その他財産管理									
受益者負担の状況	負担の有無	/		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由		/				
始期・終期(年度)	昭和	54	～	令和	5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	工業用水道事業	款	工業用水道事業費用		項	営業費用	目	減価償却費ほか	R3予算措置時期	当初
				R2年度	R3年度						
現計予算額(A)(単位:千円)				159,357	154,966						154,748
決算額(B)(単位:千円)				158,118	152,563						
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金	0	0						0
			県支出金	0	0						0
			市債	0	0						0
			その他	0	0						0
			一般財源	158,118	152,563						
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				有形固定資産減価償却費 150,908千円 庁舎・財産管理 1,128千円 車両の購入・維持管理 478千円			有形固定資産減価償却費 152,529千円 庁舎・財産管理 1,225千円 車両の購入・維持管理 983千円				
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		1,239	2,403				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	有形固定資産減価償却 無形固定資産減価償却 その他財産管理											
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など			予定通り実施できたため				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		工業用水道事業の円滑な運営に寄与しているため。							
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない				公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策				特になし			
R4年度の目標	引き続き効率的な財産管理を行う。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)				有形固定資産減価償却 無形固定資産減価償却 その他財産管理			